



ユヤチカニ
私は覚えて
いる

©Fidel Melquiades

アナ・コレア パフォーマンス公演

ロサ・クチージョ
「*Rosa Cuchillo*～ナイフのロサ～」 ※日本語字幕あり

日時 | 11月19日 [日] 17時00分～18時30分 (16時30分開場/17時00分開演)

場所 | 上智大学四ツ谷キャンパス 1号館403教室

料金 | 学生 (他大学生含む) / 上智学院教職員…無料 学外一般…千円 (資料代)

予約 | 不要

アナ・コレア 講演会&実演

ロサ・クチージョ
「解体・*Rosa Cuchillo*～ナイフのロサ～」 ※通訳あり

日時 | 11月21日 [火] 17時30分～19時30分

場所 | 上智大学四ツ谷キャンパス 中央図書館921会議室

料金 | 無料

予約 | 不要

身体アートから
社会を見つめる
アナ・コレアがキャンパスにやってくる

[主催] 上智大学グローバル・コンサーン研究所 (Tel) 03-3238-3023 (Mail) i-glocon@sophia.ac.jp

[共催] 上智大学イベロアメリカ研究所 / 人権をめぐるラテンアメリカ演劇委員会 [企画・制作] 人権をめぐるラテンアメリカ演劇委員会



身体アートから
社会を見つめる

Rosa Cuchillo

© Pablo Delano

アナ・コレア Ana Correa

俳優、パフォーマンス・アーティスト、演出家、教皇庁立ペルー・カトリック大学教員

ペルー共和国・リマ市生まれ。1978年より劇団ユヤチカニの活動に参加。国内外で女性による演劇に焦点をあてたワークショップを積極的に開催し、従来の型に囚われない演劇の形を提唱している。その他、ペルー国内の少数民族の各言語による子ども向けの演劇プロジェクトや、病院でのボランティア演劇プロジェクトを展開中。2012年ペルー文化省より文化功労賞を授与された。



© Pablo Delano

Rosa Cuchillo ～ナイフのロサ～

アナ・コレア パフォーマンス公演 2017年11月19日 [日]

Rosa Cuchillo(ナイフのロサ)は、ペルーの現代作家オスカル・コルチャードが2009年に発表した同名の小説をもとに作られた作品で、ユヤチカニ劇団代表のミゲル・ルビオが演出したソロ・パフォーマンスです。ペルー内戦で行方不明になった息子を探す先住民のロサは、やがて死者の世界へと導かれていきます。

ペルーの農村や山間部で暮らす先住民は多くの場合、社会の周縁に追いやられています。劇団ユヤチカニは、こうした人々に光をあて、アンデス世界の神聖な儀式と西洋世界の演劇を融合した作品を創ってきました。劇団名「ユヤチカニ」(Yuyachkani)は、ケチュア語で「私は覚えている」を意味しますが、Rosa Cuchilloにも、ペルー内戦を忘却の彼方へ追いやるのではなく、語り継ぐことで未来を築いていこうとする意思が込められています。

ラテン・アメリカ、アンデス、ペルー内戦といったトピックは私たち日本人にとって少し遠くに感じられるかもしれませんが、演じる者と観る者との境界がないパフォーマンス・アート空間は、地理的にも時間的にも遠い世界の出来事を、この場に出現させる力を持っています。

アナ・コレアの身体から発せられるメッセージに耳を傾け、同じ空間にいる人たちと感情やエネルギーを共有することができるアートの力をぜひ、心と身体で感じてください。

解体・Rosa Cuchillo ～ナイフのロサ～

アナ・コレア 講演会&実演 2017年11月21日 [火]

11月19日のパフォーマンス公演で上演した作品の背景となっているペルー内戦の歴史とアンデスの神話世界に言及しながら、作品誕生のプロセスをお話します。現在もなお人々の心に傷跡を残すペルー内戦にアーティストがどう向き合い、芸術作品として表現したのかを語り、実演します。



© Enrique Cuneo

ユヤチカニ
私は覚えている